

中落合1丁目地区まちづくりニュース 第7号

平成21年(2009年)6月

編集・発行:中落合1丁目地区まちづくり協議会

中井駅周辺まちづくりに関する要望書を提出しました

■6月4日、要望書を新宿区長に提出しました

まちづくりニュースの前号でお知らせしたとおり、協議会では、山手通りの拡幅整備事業に伴う中井駅周辺整備のあり方について要望書案を作成し、このニュースを通じて地域の皆さんに意見を求めました。

寄せられたご意見は、駐輪場の美観の問題、駅前や川の上の広場などのあり方、開かずの踏切対策としての新たな自由通路の必要性など、要望書案に沿ったものであり、より詳細な具体的なアイデアの提案でした。

このため、協議会では、要望書案は修正せず、「中井駅周辺まちづくりに関する要望書」としました。そして、6月4日、当協議会会長の加藤敏雄他、協議会員代表数名が新宿区長に提出しました。あらためて、皆さんのご協力に感謝いたします。



(提出する加藤代表)

■道路・交通についてご意見をお寄せください

まちづくり協議会では、道路交通や防災・防犯対策等を含め、地区全体の総合的なまちづくりの目標と方針を「まちづくり構想」として検討中です。

今回、道路交通について、皆さんのご意見をうかがうために、現在までの検討結果をとりあえずまとめました。今後、皆さんのご意見で充実していきたいと思いますので、積極的なご意見をお願いします。ご意見は、協議会事務局まで、FAX、メールなどでお寄せください。



まちづくり協議会にご参加ください

まちづくり協議会の会合は、ほぼ毎月開催されています。地区に関係する方ならどなたでも入会・参加できます。連絡、お問い合わせは下記までお寄せ下さい。

連絡・問い合わせ先: 中落合1丁目地区まちづくり協議会事務局

(新宿区都市計画部「景観と地区計画課」(担当:志原、安藤) 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1)

Tel.03-5273-3833(直通) FAX03-3209-9227 e-mail: chikukeikaku@city.shinjuku.tokyo.jp

中井駅周辺まちづくりに関する要望書

中落合一丁目地区まちづくり協議会は、平成 17 年 3 月に発足した地区住民によるまちづくり検討・実践の会です。これまで、町会および商工会等と連携した活動を通じて、住環境を守るための建築のルール「中落合一丁目地区まちづくりガイドライン」を制定(平成 20 年 3 月)したほか、現在は、地区全体としてのまちづくりの目標と方針を定めた「まちづくり構想」を検討中です。

このたび、特に緊急の課題として、山手通りの拡幅整備事業に伴う中井駅周辺整備のあり方について、以下の通り整備の目標および基本方針案をまとめましたのでここに要望いたします。新宿区におかれましては、駅周辺整備計画策定に当たって、本要望に沿うとともに予算措置についても格段の配慮を賜うようお願いいたします。

平成 21 年 6 月 中落合一丁目地区まちづくり協議会

《中井駅周辺整備の目標》

1. 幼児から学生・高齢者など誰もが安全で快適に訪れ、活力にあふれかつ憩えるまちにしている。
2. 災害に強いまちとするため、川による分断を解消し、防災拠点スペースを確保する。

《中井駅周辺整備の基本方針》

①妙正寺川の駅付近に橋をかけ、商店街通りとつなぐとともに空間を活用する。

- ・現状は一部仮設駐輪場となっているが、駅付近の河川上に幅の広い橋をかけて広場として活用したい。
- ・あわせて、商店街通りとの連絡路を設置していただきたい。

②現状の踏み切りの不便さ、危険等の問題を解消する。

- ・現状の踏み切りは、西武線の南北を結ぶ唯一のルートであるが、「開かずの踏み切り」による不便さの解消、路面のバリアフリー化など、多くの課題がある。
- ・設置予定の北口広場とあわせて、西武線南北の円滑な接続をはかるため、次のような手立てを検討していただきたい。

1) 踏み切りの安全化

- ・現行の踏み切りについて、「開かずの踏み切り」解消のための鉄道関連システムの改善。
- ・踏み切り路面のバリアフリー整備(交通弱者にとっても安全に通行できるよう)。

2) 山手通り(高架)の歩道を活用した歩行者ルートの設置

- ・山手通り高架部分の歩道を活用し、北口広場および駅舎にエレベーター等を設置し、安全な南北接続ルートを設置する。

3) 線路地下の自由通路の設置

- ・鉄道事業者の協力を得て、地下方式などの自由通路を設置する。
- ・なお、地下通路の場合は、夜間などの治安にも配慮する。

③駐輪場は機械式にするなどコンパクトにして、防災上活用できる空間を生み出す。

- ・駐輪場は、地下に設置する機械式駐輪場などとし、駐輪場の面積を小さくする工夫を講じていただきたい。



④駅周辺に人々が集まれる施設、地域のコアとして安全・防災のために利用できる施設をつくる。

- ・駐輪場の工夫、河川に橋をかけることで生み出した空間を活用して人々が集まれる場所・みんなが喜ぶ施設(安全のための施設なども含む)をつくっていただきたい。

(施設のイメージ)：情報発信、集会施設(カルチャー施設など)、宅配拠点など

- ・大災害の際には救助活動の拠点として使える広場やライフライン復旧までの設備を整備し、地域住民にとどまらず通勤・通学難民にも対応できるようにしていただきたい。

(施設のイメージ)：仮設トイレ、浄水・発電装置、貯水槽(飲み水も含む)、消火ポンプなど

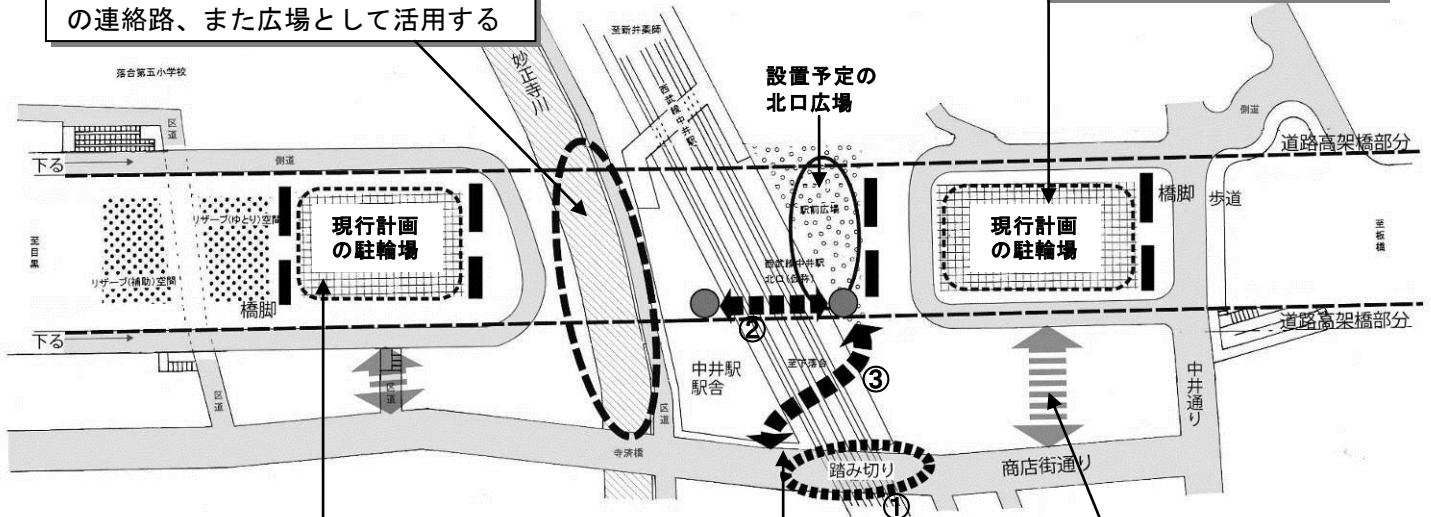
下図は、高架になる山手通り(工事中：横に引かれた太い点線)の高架下の空間を主体とした利用案を示した図です。



現行計画の駐輪場は、機械式にするなどし、コンパクトにして、空間を生み出す

生み出した空間を活用して、人々が集まれる施設、安全・防災のための施設をつくる

妙正寺川に橋をかけ、商店街通りとの連絡路、また広場として活用する



現行計画の駐輪場は、機械式にするなどし、コンパクトにして、空間を生み出す

生み出した空間を活用して、人々が集まれる施設、安全・防災のための施設をつくる

踏み切り問題(渋滞、歩行者の安全)の解消

- ①踏み切りの安全化
- ②山手通り(高架)の歩道を活用した歩行者ルートを設置
- ③線路地下の自由通路の設置

可能ならば、高架下の側道と商店街通りをつなぐ連絡路を整備する

道路交通について、協議会ではこんなことを話し合っています

まちづくり協議会では、まちづくり構想の主要テーマのひとつとして、「道路交通」に関するまちづくりの方向を下記のようにまとめてみました。これは、広く意見を聞くためにとりあえずまとめたもので、今後皆さんの意見で充実・修正していくべきものです。どうぞ、積極的なご意見を事務局までお寄せください。

(1) 地区内の主要道路：旧富士銀通り、本通り

1. 路上駐車をなくす

※荷下ろしなども含め、路上駐車が本通りと旧富士銀通りの交差点付近に特に多い。

対策 1) 路上駐車しないよう見張りを充実する。

対策 2) 駐車場(コインパーキング等)を使うよう徹底する。

2. 車のスピードを抑える

対策 1) 現状は 30 km制限だが、歩行者等の安全のため 20 km制限程度に変更する。

対策 2) 道路に車がスピードを出しにくい工夫をほどこす。

例) 「ハンプ」(車のスピードを抑制する凸凹)を設置する。

例) 石畳の舗装にして、スピードを上げにくくする。

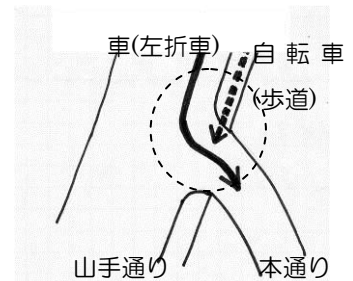
3. 生活道路であることを明確にし、通り抜け交通をなくす。

対策) 生活道路であることをアピールする道路デザインにする。

例) ・歩車共存道路「ボンエルフ」(車道と歩道を区別しないが、歩行者が優先の道路)

・一方通行により車道を狭め歩道を確保する。

・車がスピードを出せないよう、車道を「蛇行」させる。



4. 山手通りからの進入口を安全にする。(本通り)

※山手通りから本通りへ進入する車と自転車等が交錯し危険。

対策) 信号を設置する。

(2) 坂道

1. だれもが安全で快適に行き来できるようにする

対策) ひと休み広場をつくる、必要な箇所への手すりを設置するなど

新しく設置された手すり



2. 消防車等の緊急車が進入できるよう、道路空間を確保する

(3) 中井駅前の道路

1. 買い物客用の駐輪場を整備する。

※山手通り下の駅前空間に新しい駐輪場ができるが、買い物客には遠く不便。

対策 1) 既存の空間を利用して駐輪場をつくる(空き店舗の活用、私道・私有地の活用等)

対策 2) 新たな駐輪場を買い物客のみが使える仕組みをつくる(「お買い物カード」との連携等)